

2022年度 学童保育 こばとくらぶ自己評価

※評価欄：Aできている B ほぼできている C あまりできていない Dまったくできていない

評価項目	評価欄	自由記述欄
1. 総則		
運営規程を定め、事業の目的に基づいて内容が適正に行われている。	A	
小学校6年生までの児童を受け入れている。	A	希望があれば受け入れている。
新1年生を4月1日から受け入れている。	A	
保護者の就労状況や学校の授業終了時間等を考慮し、開所日・開所時間を設定している	A	
適正な時期に入会の募集を行い、広く周知を図っている。	A	
入会の承認については公平性に努め、利用開始にあたって保護者に十分な説明を行っている。	A	
2. 放課後児童支援員について		
放課後児童支援員の配置は、登録児童数や個々の児童の状況に応じて人員配置をしている。	A	
放課後児童支援員は、事業の内容から求められている役割を理解し、児童の育成支援の充実を図るため務めている。	A	
都道府県知事が行う研修(認定資格研修)を終了した放課後児童支援員を配置している。	A	
放課後児童支援員は、研修等に積極的に参加している。	A	
会議や研修の内容が放課後児童支援員の間で共有され、育成支援の内容の充実・改善に活用されている。	A	
3. 施設・設備		
開所時間を通じて、児童の生活する専用の部屋が確保されている。	A	
児童の体調の悪い時等の静養できるスペースが確保されている。	A	
児童の遊びを豊かにするため、屋外遊びを行う場所を確保できている。(学校施設・近隣公園など)	A	金堀公園、ウォーターフロント公園を利用しているが、外遊びがあまりできていない。
遊びを豊かにする道具や図書が設けられている。	A	
活動に要する遊具、図書及び児童の所持品を収納するためのロッカーなどが設けられている。	A	
事務を行うための事務スペース及び備品が備わっている。	A	
4. 事業内容		
育成支援の目標や事業計画を作成し、保護者と共通理解を得られるようにしている。	A	
日々の児童状況や支援内容を記録し、放課後児童支援員同士で、情報を共有できている。	A	
児童が放課後児童クラブの過ごし方を理解し、主体的な遊びや生活ができるよう援助している。	A	

活動の中で、児童同士の関係を捉えながら適切に関わり、児童が安心して過ごせるよう援助している。	A	
4. 事業内容		
児童が悩み相談事を話せるような信頼関係を築けている。	A	
行事などを通して地域、李喜組織などとの交流が図られている。	D	コロナ禍で地域の行事も行われておらず、交流することも難しい。
児童の人権に十分配慮するとともに、児童一人ひとりの人格や意見を尊重して活動が行われている。	A	
5. 障がいのあるこの受け入れ体制		
障がいのある児童の利用希望がある場合は、可能な限り受け入れに努めている。	A	
障害のある児童を受け入れる場合は、放課後児童支援員の配置を必要に応じて増員している。	A	
放課後児童支援員は、研修会などに参加し、障害に関する知識を習慣してしている。	A	
6. 保護者への支援・連絡・連携		
送迎時や連絡帳などを活用し保護者と児童について情報交換し、家庭状況に応じた対応等を行っている。 保護者が相談しやすい雰囲気づくりに心がけ、保護者からの相談に応じ必要場助言や支援を行っている。	A	
	A	
7. 学校・地域との連携		
情報交換や情報共有などを行い、学校と連携を図っている。	A	時津東小学校の命を守る連絡会に参加している。
保育所・幼稚園等との児童についての情報交換を行っている	A	
地域の協力が得られるように、地域組織や児童に係る関係機関との情報交換を行い、連携を図っている。	A	
8. 配慮を必要とする児童への対応		
児童の状態や家族の状況把握により、児童虐待の早期発見に努めている。	A	
児童虐待が疑われる場合は、町などの関係機関と連携し適切な対応を図っている。	A	
児童の家庭環境を把握し、特別の支援が必要な状況を把握した場合には、町や関係機関と連携して適切な支援につなげるように努めている。	A	
9. 衛生管理・安全対策・緊急時対応		
手洗いやうがいなどを敢行するなど、日常の衛生管理に努めている。	A	
児童におやつを提供する場合は、衛生管理やアレルギー対策を十分に講じている。	A	
感染者等の発症についての対応方針を定め、保護者に周知している。	A	
室内及び屋外の環境の安全性について毎日点検している。	A	
事故が発生した場合に備え、損害賠償保険に加入している。	A	
ケガに備え、傷害保険に加入している。	A	
防災・防犯に関する計画やマニュアルを作成し、定期的に避難訓練等を行っている。	A	

災害等が発生した際の緊急時の連絡体制を整備し、保護者や学校と共有している。	A	
---------------------------------------	---	--

9. 衛生管理・安全対策・緊急時対応

出欠確認をはじめ、活動中の児童の安全確認、来所・帰宅時の安全管理を行い、日頃から学校や保護者と確認等の連携を図っている。	A	
児童の来所時は、児童一人ひとりの心身の状況把握に努めている。	A	
緊急時に備え、AEDの設置や応急処置技術を習得している。	A	

10. 運営管理

個人情報について、適正な取り扱いをしている。	A	
児童や保護者の人権への配慮と職務上知り得た情報に関する守秘義務が守られている。	A	
要望・苦情の内容や対応について放課後児童支援員間で情報共有を図り、事業内容の充実・改善を行っている。	A	
毎年度、運営規程の確認作業を行い、必要に応じて変更している。	A	
放課後児童支援員等の健康診断等を実施している。	A	
放課後児童支援員等が業務中災害等にあった場合の補償を行うため、事業主として労災保険に加入している。	A	